

6月定例議会を6月6日から9日まで開きました。

補正予算や条例の改正などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。
(各議案の審議結果は4ページに掲載しています。)

補正予算

旧県海田庁舎の耐震診断費用を削除 一般会計補正予算案を修正可決

一般会計ほか4つの会計の補正予算については、予算委員会で審議を行いました。

この審議結果については、予算委員会委員長から、「一般会計の補正予算のうち、庁舎移転関係部分の費用を修正すべきものである」との報告がありました。

この報告を受け、議場において採決した結果、賛成多数で修正案を可決しました。

(予算委員会と修正案の詳細は4ページに掲載しています。)

庁舎移転

500万円

庁舎移転のための基本構想を策定する費用のうち、旧県海田庁舎を使用するための耐震診断に関する費用800万円を、議員の修正案により減額しました。

討論

原案賛成

移転補償の金額面から、改修よりも高くなる建て替え方式について住民の理解を得るためには、詳細な専門的調査を行う必要がある。

下岡憲国 議員

修正案賛成

庁舎の移転先については、確定できているとは認めがたい。もっと時間をかけて議会と住民の意見を聞き、また、説明を行うべきである。

宗像啓之 議員

仮に移転先を旧県海田庁舎とするのであれば、建築後40数年が経過しており、耐震診断してまで使用することは不適当である。

桑原公治 議員

移転先も決まっていない中、自前の建物でない中古物件を、町の予算を使って耐震診断することを認めることはできない。

兼山益大 議員



シルバー人材センター事務所跡地に移ります

海田公民館建て替え事業

2560万円

シルバー人材センター事務所跡地に建て替えるため、基本設計を行い、東京オリンピック(平成32年7月)までの開館を目指します。(次のページに関連記事があります。)

町制60周年記念事業

360万円

町内各種団体・グループ(5名以上)が町で行う町制60周年記念行事にあわせて行うイベントに6万円を限度に補助金を出します。

条例改正

課税限度額を 引き上げ

国民健康保険税条例

国民健康保険税の課税限度額を引き上げました。

主な改正内容

- 課税限度額の引き上げ
・基礎課税額 52万円→54万円
・後期高齢者支援金等課税額 17万円→19万円
・介護納付金課税額 16万円(変更なし)
- 軽減判定所得の基礎控除基準の緩和
- 課税限度額の引き上げは何世帯か。
- 11世帯である。

反対討論

国保税の限度額は平成19年度から9回、24万円も引き上げられている。住民の暮らしを守る努力もせず、即引き上げることには反対である。

佐中十九昭 議員

保育士の 配置要件を緩和

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例

小規模保育事業所における保育士の配置要件の緩和などを行いました。

主な改正内容

- 建築基準法施行令改正への対応
- 小規模保育事業所などにおける保育士配置要件の緩和
- 朝夕の保育士配置要件の緩和
- 幼稚園・小学校教諭などの活用
- 保育士の免許がなくても、幼稚園、小学校の教諭免許があれば保育が可能になるのか。
- 条件内であれば可能になる。

反対討論

今回の改正は、現場の保育士不足が深刻な状況下において、無資格者の導入拡大により対応しようとする極めて無責任なものである。

住吉秀公 議員

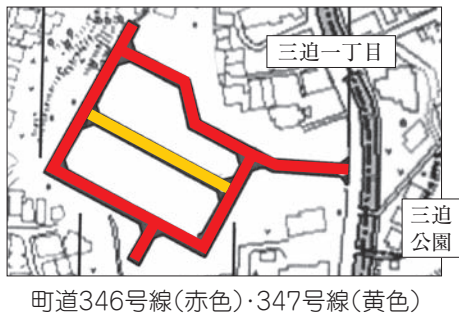
道路認定

町道346・347号線

造成地内の道路を町道として認定しました。

一方しか町道に接続していないが、将来はもう一方を接続するのか。

現在、予定はない。



町道346号線(赤色)・347号線(黄色)

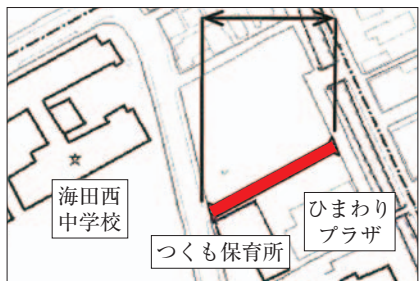
道路廃止

町道310号線

つくも保育所の改修のため、町道を廃止しました。

中国財務局から譲り受けた土地だが問題はないのか。

無条件譲与なので問題はない。



今回廃止した区間

契約認定

つくも保育所を改修
1億2599万円

定員数の増加に伴い、保育室、トイレなどの拡張を行い、老朽化した建物と設備の改修を行います。

通学路になっているが、工事期間の安全対策はどのようにするのか。

学校と協議をして工事が通学時間帯にかからないようにする。



建築後初の大改修です

海田公民館整備特別委員会 中間報告

報告の主な内容

特別委員会委員長から、老朽化した海田公民館の整備に関する調査の途中経過について報告がありました。